令和３年４月９日

木津川市議会議長　山本　和延　様

会派名　　れいわの会

代表者名　　倉　克伊

令和２年度政務活動費に係る収支報告について

木津川市議会政務活動費の交付に関する条例第８条第１項の規定により、別紙のとおり令和２年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和２年度政務活動費収支報告書

会派名　　れいわの会

１　収入

政務活動費　920,000　円

２　支出　　（単位：円）

科　目	支　出　額	備　考
調査研究費		
研修・会議費		
広　報　費	572,218	広報紙発行（年４回）
広　聴　費		
要請・陳情活動費	289,880	要請活動（衆議院会館、参議院会館、憲政記念館）
資料作成費	7,490	事務局コピー代
資料購入費		
事　務　費		
合　計	869,588	

３　残額

50,412　円

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

別紙10（条例様式第１号関係資料）

令和２年度政務活動費収支報告書補助用紙【会派用】

○支　出　　（単位：円）

科　目	使途項目	支出額	支出内容
調査研究費			
	調査委託費		
	交通費		
	宿泊費		
	自動車借上料		
	使用料		
研修・会議費			
	会場費		
	機材借上費		
	講師謝金		
	会費		
	交通費		
	宿泊費		
	茶菓子代等		
広報費		572,218	
	印刷製本費	572,218	年４回発行（R2.4/12, 7/28, 10/18 R3.1/10）
	役務費		
広聴費			
	会場費		
	機材借上費		
要請・陳情活動費		289,880	
	印刷製本費		
	交通費	215,680	
	宿泊費	74,200	
資料作成費		7,490	
	印刷製本費	7,490	事務局コピー代
	原稿料		
	委託料		
資料購入費			
	書籍購入代		
事務費			
	事務用品購入費		
	備品購入費		
	事務機器賃借料		
	通信費		
合計		869,588	

別紙12（項目別集計表）　　〔会　派　用〕

項　目　別　集　計　表

科目番号	科　目　名
3	広報費（印刷製本費）

年月日	内　　容	支　払　額 （充当額）	備　考	整理番号
R2.4.28	れいわの会だより第４号、4/12発行	193,050円 （144,787円）		3－1
R2.8.17	れいわの会だより第５号、7/28発行	193,050円 （144,787円）		3－2
R2.10.28	れいわの会だより第６号、10/18発行	188,430円 （141,322円）		3－3
R3.1.18	れいわの会だより第７号、1/10発行	188,430円 （141,322円）		3－4
合　計		762,960円 （572,218円）		

科目番号　１：調査研究費　２：研修・会議費　３：広報費　４：広聴費　５：要請・陳情活動費
６：資料作成費　７：資料購入費　８：事務費

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	3 － 1		
支出年度	令和2年度	支出年月日	令和2年　4月　28日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□1：調査研究費　□2：研修・会議費　☑3：広報費　□4：広聴費 □5：要請・陳情活動費　□6：資料作成費　□7：資料購入費　□8：事務費		
政務活動費金額	193,050円 （144,787円）		

【領収書等証拠書類貼付】　れいわの会だより　第4号

193,050円 x 3/4 = 144,787円

領　収　書

令和 ~~平成~~ 2年4月28日

令和の会　様

領収金額			百万	十万	千	百	十	円
			7	1	9	3	0	5	0

但し　議会だより4号 21,000部
内訳 20500部

上記の金額領収いたしました。

収入印紙 200円

西本印刷株式会社
代表取締役　西本晴彦
〒619-0217　京都府木津川市木津町八ケ坪
TEL.0774(72)0064　FAX.0774(72)1064

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	3 － 2		
支出年度	令和2年度	支出年月日	令和2年　8月　17日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□1：調査研究費　□2：研修・会議費　☑3：広報費　□4：広聴費 □5：要請・陳情活動費　□6：資料作成費　□7：資料購入費　□8：事務費		
政務活動費金額	193,050円 （144,787円）		

【領収書等証拠書類貼付】　れいわの会だより　第5号

193,050円 x 3/4 = 144,787円

領　収　書

令和 ~~平成~~ 2年8月17日

令和の会　様

領収金額	百万	十万	万	千	百	十	円
			7	1	9	3	0	5	0

但し 議会だより 21,000部
折込料 20,500部

上記の金額領収いたしました。

収入印紙 200円

西本印刷株式会社
代表取締役　西　本　晴　彦
〒619-0217　京都府木津川市木津町八ヶ坪
TEL.0774(72)0061　FAX.0774(72)1064

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	3 － 3		
支出年度	令和２年度	支出年月日	令和２年　10月　28日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□１：調査研究費　□２：研修・会議費　☑３：広報費　□４：広聴費 □５：要請・陳情活動費　□６：資料作成費　□７：資料購入費　□８：事務費		
政務活動費金額	188,430円 （141,322円）		

【領収書等証拠書類貼付】　れいわの会だより　第６号

188,430円 x 3/4 = 141,322円

領　収　書

令和 ~~平成~~ 2年10月28日

令和の会　様

領収金額	百万	十万	万	千	百	十	一	円
			十	一	八	八	四	三〇

但し 議会だより 20000部
折込料 19100

上記の金額領収いたしました。

日本郵便 収入印紙 200円

西本印刷株式会社
代表取締役　西　本　晴　彦
〒619-0171　京都府木津川市木津町八ケ坪4
TEL.0774(72)0064　FAX.0774(72)1064

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	3 － 4		
支出年度	令和2年度	支出年月日	令和3年　1月　18日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□1：調査研究費　□2：研修・会議費　☑3：広報費　□4：広聴費 □5：要請・陳情活動費　□6：資料作成費　□7：資料購入費　□8：事務費		
政務活動費金額	188,430円 （141,322円）		

【領収書等証拠書類貼付】　れいわの会だより　第7号

188,430円 x 3/4 = 141,322円

領　収　書

令和 ~~平成~~ 3年 1月 18日

令和の会　様

領収金額	百万	十万	万	千	百	十	円
			7	1	8	8	4	3	0

但し 議会だより 20000部
折込 19100部

上記の金額領収いたしました。

収入印紙 200円

西本印刷株式会社
代表取締役 西本晴彦
〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪
TEL.0774(72)0064 FAX.0774(72)1064

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

木津川市議会

れいわの会だより

第４号

■発行日／令和２年４月12日　■編集／木津川市議会れいわの会

友渕小学校　本校正門前にて

過大規模校の課題解決に向けて「れいわの会」が提唱し付帯決議可決

新型コロナウイルスが京都府内でも感染が拡大しており、不要不急の外出を控えていただき、最大限の警戒と自己管理に努めて下さい。よろしくお願いします。

令和２年度一般会計予算は２８２億９３００万円で、大型事業の完了で建設事業の経費が大幅に減少しましたが、民間こども園や公立保育所の費用や、過去に実施した大型事業費の返済などが増加したことで前年度とほぼ同じぐらいの予算額になっています。

総合計画に基づく様々な施策の取組みを本格化させる重要な年度と位置付け、

●子育て支援　●次世代を担う子どもたちの個性や能力を伸ばすための教育環境整備　●安心・安全に市民が健康で快適に暮らせるまちづくり

を基本方針として予算が編成されています。

人口の増加や施設の老朽化により必要となる金額が増加し、財政は厳しい状況が続いています。持続可能な財政基盤を構築していくため、行財政改革および行動計画の実践による財政健全化の取組みを進め、公共施設などの管理計画に基づく効率的で効果的な施設の在り方を目指すものとしています。

「れいわの会」は各々のチカラを合わせワンチームとなって木津川市がさらに魅力あふれるまちとなるよう活動してまいります。

れいわの会 視察報告

大阪市立友渕小学校 過大規模校を視察訪問

（令和２年２月１２日）

★友渕小学校の概要

友渕小学校は、昭和56年に創立された都島区に位置する大阪市立小学校で、令和元年９月１日現在の全校児童数は、1652名の過大規模校です。

同校では、本校に３～６年生（1099名）、分校に１～２年生（553名）が通っています。

ほとんどの児童が近隣の友渕中学校に進学しており、１小１中であることの良さを生かした教育活動が展開されています。

同小学校　分校

友渕小学校　本校

また、小中連携の観点からも友渕中学校との交流は年々盛んになってきているとのことです。

★過大規模校の学校運営について

大規模マンション群の開発に伴い児童数が増加しましたが、保護者の多くは、地域性などを知ったうえで住宅を購入されており、大規模であることにはある程度の理解がなされているとのことです。

学校選択制により隣接する小学校への進学も少なくなく児童数の分散が一定図れているようです。

大規模であるが故に、式典などは簡素化する必要があり、また校外学習などは特別の配慮が必要とのことです。特に登下校の安全確保が大きな課題で登校時は、PTAが児童の見守りをされています。

城山台小学校 過大規模校の課題解決に向けて

先の市議会定例会において、城山台小学校「過大規模校」の解消を求める請願書が提出されました。

私たち「れいわの会」は、この課題を真摯に受け止め、実際に過大規模校に足を運び学校現場での課題点などを学びました。

請願書の審議においては、わが会派が討論に立ち児童ファーストの考えのもと、教育保障などの方策をしっかりと検討することや財政面なども十分に考慮すべきとの意見を述べました。

会期中、当案件について付帯決議が提出され、わが会派としても関係する皆様と協力し、引き続き課題解決に向けた検討を支援してまいります。

皆さんのご意見をお聞かせください　E-mail reiwa.kizugawa@gmail.com

倉　克伊　TEL 86-2835　FAX 86-4235
森本　隆　TEL 73-5314 morimoto077473@clock.ocn.ne.jp
伊藤紀味枝　TEL 72-1102 kimie.ito2@gmail.com
山本　和延　TEL 72-1894　FAX 72-1894
高岡　伸行　TEL 86-2437 nobu05071965@yahoo.co.jp
谷口　雄一　TEL 26-4804 ksp_yuichi@yahoo.co.jp
兎本　尚之　TEL 76-7580 tatugami@hotmail.com
玉川　実二　TEL 51-5883 jitsutama@yahoo.co.jp

代表質問

住み続けたい住んでよかった街へ

高岡伸行

令和２年３月木津東バイパス・東中央線が開通。新しく『木津川橋』が出来ました。しかしその先に続く新しい国道24号線バイパスの事業化が昨年４月に国会で決定しました。そのような中、本市でも４月から最重要課題と位置付け、プロジェクトチームを設置し早期実現へ向けて取り組まれます。

今年度は地籍調査が始まりますが、新名神城陽ＩＣ～木津川市迄の約11kmのバイパスは災害時のネットワーク強化を図る必要不可欠な国道であり、ＪＲ奈良線複線化と併せて早期実現が望まれます。

令和２年度一般会計予算の賛成討論

予算規模は前年度とほぼ同じですが小中学校のトイレ洋式化の整備、一人１台タブレットの整備、木津高校アクセス道路木津内田山線の改良工事予算、幼児教育の無償化に伴う保育園の入園希望者増に対応した関係予算の増額、対策が講じられています。

交付税の特例措置が最終年度となり、国からの支援も９割が縮減される中、住んでよかった街づくりへ向けて市の更なる飛躍を期待します。

代表質問

災害に強いまちづくりを

伊藤紀味枝

Q　①内水対策強化は必須である。木津合同樋門の排水能力強化に取り組むとあるが、具体策は。②防災士の養成内容は。③消防庁舎の新築建設計画の内容は。

A　①排水能力毎分２４０トンを増設。現地点から上流の適切な場所。②自主防災組織からの推薦者と職員で２年間で１２０人。③令和２～３年度で基本・実施設計、４～５年度で建設、５年度末竣工予定。

教育環境の充実に向けて

Q　①ＩＣＴ教育の充実に、校内通信ネットワーク整備や教師の指導能力の向上が必須だが。②木津小学校と相楽小学校の校舎改築の内容は。

A　①令和２年度に小中学校全１８校に一斉整備。全教職員を対象に研修する。②木津小は南校舎等解体、中庭の敷地に新校舎建築。相楽小は北校舎中心に改築。両校共、５年度供用開始を目指す。

スマート自治体を目指し

Q　ＲＰＡの対象業務を３業務に選定し、自動化による効果と課題は。

A　業務手順の効率化・標準化、正確性の確保などの効果。システムの例外的処理など適用範囲を拡大には課題が残る。

一般質問

マイナンバーカードを持つタイミング

兎本尚之

私はこれまで通知カード・住民基本台帳カードで十分であり、マイナンバーカードの必要性・有用性を感じておらず作成しておりませんでした。

しかし、マイナンバー制度が開始され５年目でようやくマイナンバーカード持つメリット（確定申告が楽になることや還元率２５％で最大５０００ポイントがもらえるマイナポイントなど）が出てきたと判断して、運転免許証を持つ父と免許証を返納した母とともにマイナンバーカードを作成しました。

情報を早く入手された方々は同じように考えられているのか、2020年になり多くの方々がマイナンバーカードを作成されているようです。

入手できるまでに一定の時間を要するので、必要になった時にすぐに使用できるように作成だけでもされておいて損はないタイミングかと思われます。

４月の「広報きづがわ」にマイナンバーカードについての記載がありますのでそちらもご確認ください。

一般質問

待機児童解消対策を万全に

谷口雄一

本市は毎年４月時点では待機児童ゼロを実現してきたが、令和３年度には１・２歳児について受け入れ定員不足が見込まれている。保育利用見込み数に対し受け入れ定員数が不足する、いわゆる国基準の待機児童が生じることを意味しており、速やかな対応が必要である。

Q　保育の無償化による保育ニーズの高まりは想定内か。

A　事前アンケート等を踏まえて、保育ニーズは多くないとの見込みであったが、実際は、就労見込みの保護者は昨年比約２６％の増加であった。

Q　待機児童解消は重要な責務である。具体的な対策は。

A　相楽台保育園の統廃合時期の延期等、保育所民営化計画の変更による受け入れ定員の拡充、派遣保育士の活用や新たな支援策を含む保育士確保に取り組み、待機児童ゼロに向けて確固たる体制づくりを進めていく。

スポーツ推進計画を策定し、まちづくりに生かす取り組みを

Q　スポーツ振興に対する方針と計画策定の検討状況は。

A　全ての市民が生涯を通じて学び、スポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境整備や機会の提供を充実させ、その成果を自らの暮らしと地域に生かすことができるまちづくりを進めていく。今後の計画策定は、近隣市町の状況も注視しながら、研究を進めていく。

公共施設の今後の在り方

倉　克伊（くら かつよし）

木津川市は合併した市であり、公共施設等が、他市に比べ多い状況であります。

これから、経年劣化や雨水の浸透などで、多額の費用がかかることが予想できます。今後は、老朽化に合わせて施設の廃止や同種の施設を統合するなどの必要があります。

また現在は、市が行っている不具合が生じてから行う「事後保全」から、異常が生じる前にメンテナンスを施す「予防保全」にシフトを変えることで細やかな維持管理に努め、これが施設のライフサイクルコストの抑制にもつながり、施設管理の支出を軽減する最大の手法であります。

次に、設計段階での細かなチェックが必要です。設計図書を鵜呑みにするのではなく、何が必要か、できるだけ長く手直しがいらない建物か、それらを市の技術職員が精査することで、手直しや補修頻度の削減に努めることができます。

併せて、今まで行ってきた補修工事の点検を通じて、今後の設計や工事に反省点を生かすことが、財政的にも大きく貢献できるものと考えます。

令和元年度を振り返って

玉川実二（たまがわ じつじ）

わが会派は、行財政改革を推進し子や孫の世代に向けた未来のまちづくりのために積極的に政策提言をしてまいりました。私自身、この会派の方針を受け政策提言に際しては、旧態依然のやり方や前例を踏襲するのではなく、主体的にかつ独自性をもち多様な衆知を集め政策提言を行ってまいりました。

【令和元年度主な政策提言】

- **フィーチャーデザインを検討**
  将来を起点に未来のまちづくりを作成
- **SDGs（持続可能な開発目標）を取り入れた政策**
  グローバル視点での市政運営を推進
- **歳入を増やす攻めの自治体経営の検討**
  健全な自治体経営の為の柱となるプロジェクトを推進
- **外国人労働者との共生と支援の推進**
  生産年齢人口減少に対し、本市の施策を作成
- **グローバル人材育成のための施策**
  豪州との国際交流、英語短時間継続学習などを推進
- **ICT（GIGAスクール構想）を活用した遠隔学習の検討**
  海外学校とのICT常時接続や有事の学習保障を推進

令和2年度　更なる改革を提言

木津川市人口ビジョン（目標）のとおり、本市は正に成長期にあります。令和２年度におきましても、その成長期に相応しいまちづくりを「進取の精神」を持ち、且つ子や孫たちが引き継ぐ「将来世代を見据えた」政策を提言してまいります。そして、本市の自治体経営を支える主要プロジェクトの創出を目指し、会派並びに議員活動を推進してまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの議会対応

山本和延（やまもと かずのぶ）

日本で新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、安倍総理の２月26日と２月27日の会見で、不特定多数のイベントの自粛や小中学校の休校など、国民に向けて感染予防の要請があった。

議会は、３月２日に会派幹事会や議会運営委員会を開催し、全ての議員の理解のもと、議会出席者の対応や議会運営の見直しを行い、感染予防対策を講じた。

※議員や行政職員が発熱、倦怠感がある時は、本会議や委員会には出席しない。また、審査中に体調が優れないときは、議長や委員長に申告を行い、適切な措置を取る。

※議場や委員会室に入るときは、アルコール消毒の手洗いを徹底し、審議は休憩時間を十分に取り室内の換気を適切に行う。

※代表質問や一般質問の日程を変更し、予算特別委員会等は集中審議とし、質問・答弁を簡潔明瞭に行う事により審査時間を短縮する。

議会は審議を尽くし議決権を行使する重要な機関であることを踏まえつつ、行政が感染予防対策（市民からの相談や小中学校の休校、公共施設等の使用制限等）に専念できるよう配慮した。

今回の議会の取組みは、新型コロナウイルス感染防止対策として、市民の健康と生命を守ることに繋がるものである。

予算委員会

森本　隆（もりもと たかし）

３月議会では、３月第１週に、新型コロナウイルス対策に行政が全力で対応できるように、代表質問、一般質問の日程変更、日程短縮を実施しました。その過程で、一般質問を６月議会へ繰り延べしました。今回は、一般会計予算特別委員会での質疑を報告させて頂きます。

小中学校へのタブレット導入予算（予算額：8345万円）

Q　①タブレットの具体的な仕様は。②整備計画は。

A　①2in1仕様、10.1インチLCD、Windows10の端末を予定。５年リース契約。②国が推進するGIGAスクール構想に基づき、令和２～５年度までに、児童・生徒１人１台を整備。令和２年度は３２１台、小学５・６年生。中学１年生に整備予定。

ＩＣＴ教育推進事業費（予算額：6717万円）

Q　今年度からスタートする小学校の英語教育へのICT教育の積極的な活用を要望する。

A　新学習指導要領に準拠したデジタル教科書を導入して小学校の英語教育を進めていく。

障害者地域生活支援事業費（予算額：１億294万円）

Q　障害者日常生活用具助成費（2201万円）の適用基準が2012年より変更されていない。医療器具の進化は日進月歩であり、近隣他市と比較して使いにくい状況であり、見直しが必要。適用基準を見直す考えは。

A　令和２年度に、障害者地域生活助成金支給事業の適用基準の見直しを進める。

木津川市議会

れいわの会だより

■発行日／令和2年7月28日　■編集／木津川市議会れいわの会　第5号

建設部より条例のヒアリングを実施

太陽光発電設備抑制条例を可決

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済は大きな打撃を受けています。私たちの生活においても緊急事態宣言が解除されたものの、行動の抑制など、生活環境は大きく変化しました。

5月26日の臨時議会では、国の緊急対策支援金を含め合併以降最大の約83億円の補正予算を可決しました。

また、6月議会でもコロナ対策の予算や、城山台小学校過大規模校に対する子どもたちの教育環境の整備費用の補正予算などが上程され可決しました。

さらに、7月15日の臨時議会では、コロナ対策第二弾として、市民1人当たり五千円の市内商店応援きづがわエール商品券事業、事業継続応援給付金、妊婦特別給付金等を可決しました。私たちが市民の声を聴き、全員一致で採択した「メガソーラーの設置に反対する請願と規制条例の制定」に向け、早急な制定を求めた結果、「太陽光発電設備に関する条例の制定について」を可決しました。

私たち「れいわの会」としても皆様のご意見をお聞きしながら、何が必要かを議論し、進めていきたいと思います。

これから暑い夏がやってきます。ウイズコロナのもと、マスク着用や換気という観点から新しい生活様式の中、くれぐれも熱中症などにご留意下さい。

城山台小学校 過大規模校の課題についてヒアリング

れいわの会 現場の声

過大規模校の課題について現場の声を聴く

現場第一の理念のもと、6月より順次、自治会等の役員、小・中学校管理職、低学年児童の保護者の方々に延べ9回ヒアリングを実施しました。

学習保障、学校運営についての声

1800名もの児童を一つの学校で運営することによる学習面・教育面の課題に対し多くの意見が述べられ、学校経営における懸念が示されました。

- 学校教育においてコミュニティーを学ばせることが重要だが過大規模はそれが希薄になる
- 児童増加に伴い行事が少しずつ削減されている（運動会参加種目の制限、まちの体験廃止など）
- 教育委員会の説明（バスの購入、スクールガードリーダー等）を聞き、安心した
- 今後も課題はでると思うが、学校・PTA・地域で子どもたちのために考える必要がある
- 児童の役割が少なくなり、教育上問題がある
- 中学校校舎が足りるのか、密の問題もある
- 梅美台小の2倍の規模、学校経営大丈夫か
- 中学校は、500人規模が適正と考える
- 過大規模校を応援する保護者も一定程度いる

登下校時の安心・安全についての声

小学校への登下校はもとより、同地区から大人数の生徒が通う中学校への登下校時の安全について大きな懸念が示されました。

- 有事の際の危機管理が大変気がかりである
- 子どもたちが接触したりする事故も結構生じている、更にリスクが増えるのではと心配
- 城山台地区から500人規模の生徒が、自転車で登下校する、大変不安である
- 旧R163歩道側からの自転車通学が現在の200人から400人となり通学路の問題が生じる
- 中学校への通学路については危険な箇所が多い、計画的な対策実施が必要

課題全般についての関係者の声

地元の声として、現行敷地内で妥当。反対等の声は少ないように感じるという意見がある一方で、大半が過大規模校の課題について言及されている。

また、行政側の対応に対して、シミュレーションやベンチマークをすべきとの意見や課題に対する合理的な説明を求める声が聞かれた。

今後、協議会を設けてほしいという意見などに真摯に対応し、課題解決に向けた活動が必要である。

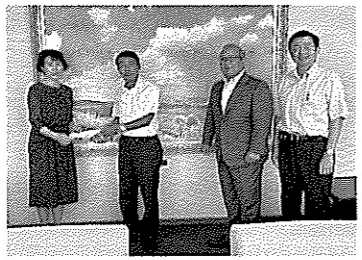
過大規模校の課題解決に向けて、市長に申し入れ書を提出（6月24日）

大きな課題となっている「城山台小学校における児童急増対策について」6月議会終了後に申し入れ書を提出。（以下、要点を抜粋。）

①市民の理解を促す数値データを含む、過大規模校解消のための建設決定理由の説明

②市民、有識者、行政等による過大規模校解消のための、今後の取り組みを協議

今後においても、児童・生徒ファーストの考えのもと、保護者をはじめ学校関係者、市民とともに課題解決に向けた活動を推進してまいります。



皆さんのご意見をお聞かせください　E-mail reiwa.kizugawa@gmail.com

倉　克伊	TEL 86−2835	FAX 86−4235	高岡　伸行	TEL 86−2437	nobu05071965@yahoo.co.jp
森本　隆	TEL 73−5314	morimoto077473@clock.ocn.ne.jp	谷口　雄一	TEL 26-4804	ksp_yuichi@yahoo.co.jp
伊藤紀味枝	TEL 72-1102	kimie.ito2@gmail.com	兎本　尚之	TEL 76-7580	tatugami@hotmail.com
山本　和延	TEL 72−1894	FAX 72−1894	玉川　実二	TEL 51-5883	jitsutama@yahoo.co.jp

一般質問

コロナ禍の影響を受ける子どもたちへ配慮と支援を

谷口雄一（たにぐち ゆういち）

社会活動の大きな変容が求められる中、子どもたちにとっては、学習面・生活面全てにおいて、その環境の変化に対する影響が懸念されている。平常時以上に社会全体で見守り、より一層の配慮と支援が必要である。

Q　学校再開に際して、どのような対応を講じるのか。

A　２ヵ月におよぶ臨時休校は、意欲あふれる進学時の子どもたちのモチベーションや仲間づくりに係る体験活動、学力に大きく影響すると認識している。

まずは再開後の個々の状況を把握し、家庭との連携の下、無理なく学校生活に移行できるよう生活リズムの確立を図る。

Q　感染症対策と併せ、遅れている学習への支援は。

A　学習状況を共有し、補充的な学習の実施など、可能な限り必要な措置を講じる。特に低学年の子どもについては、感染症をいたずらに不安がらせても、怖がらせてもいけないと同時に、感染症対策の生活・規律を教えていくことも重要であり、出来るだけ先生方が、指導・学習に専念できる体制づくりが重要である。

国の学習保障に係る人的措置等の支援策については歓迎しており、精神面の指導だけではなく、現実的に教職員の働き方を支えることが必要で、今の学校現場に即して、どういった施策が有効となるのか、早急に具体的な検討を進めていく。

市内小・中学校へ学校選択制の導入を

高岡伸行（たかおか のぶゆき）

平成２５年３月議会にて将来の城山台小学校の教育環境に於いては、学校選択制導入の必要性を指摘させて頂きました。城山台小学校は開校時（平成２６年４月）に６９名の児童数が６年後の現在は約１千人に急増し、令和７年ピーク時には、約１８００人になる予定です。一方で、児童が減少している学校があります。そのような中、選択肢を広げる意味でも、来年度から導入予定だが課題は。との質問に、遠距離通学時の費用補助、受け入れ校の状況等が今後の検討課題。安全確保は保護者でお願いしたいとの答弁です。また、城山台小学校の運動会等大きな大会は、陸上交歓記録会で現在使用させて頂いている、奈良市の鴻ノ池陸上競技場を借りられるように協議を提言して参ります。

空き家条例の制定へ向けて

空き家問題に対応するため、昨年より窓口を一元化すべきと提言してきました。（本年4月より一元化されました。）

それまでは６つの課で対応されてきたが、一元化にする事で効果はとの問いに、空き家の状況、所有者等が管理でき事務がスムーズに図れる事が一番のメリット。また、市民に担当課が分かりやすくなったと言う答弁でした。

今後は、条例制定が一番の課題ではとの問いに現在、策定作業を行っているとの答弁です。市長・副市長答弁として、防犯上全国で影響が出ており、深刻な問題になる事は間違いない。市民の皆さんの心配が減るよう努力するとの事です。

新型コロナウイルス感染症対策は万全か

森本　隆（もり もと たかし）

今年、２月から４月の市内の救急出動件数は平年より約５％減少、死亡者数は平年並み、新型コロナ感染拡大の第一波については、医療崩壊を防ぐことができた。現状認識と第二波に備えた対策を問う。

Q　①市の取り組みに対する評価は。
②次の市の独自政策は。
③市内の病床数は近隣他市と比較して少ないが、どう改善していくのか。
④平成27年に制定された、『新型インフル等行動計画』の改定を含めた今後の備えは。

A　①市内の感染は最小限に抑えられた。特に、備蓄マスクを定期的に各施設に配備したことが、クラスター対策に効果があった。

②10万円給付等については、市職員の協力により市民に迅速に対応できた。次は子育て、事業者等の支援を検討している。

③府内全体では、感染症病床は38床で基準は満たしている。山城南医療圏域では、一般病床は約50床不足している。今後、府へ要望していく。

④現在の行動計画は具体的な実施方法を定めていない箇所が多い。改善していく。感染拡大防止と自治体業務継続を両立するために、テレワークを推進する。

城山台小学校の児童急増による過大規模校の対策について

倉　克伊（くら かつよし）

城山台は、地価が安価で低金利時代を反映し、若い子育て世代の転入が多く、しかもURが撤退することで民間企業に販売し開発したことから、想定を越え急速に児童数が増加しました。

木津町時代に予定人口11,000人、１小学校で決定し、州見台、梅美台の人口増と児童数の増加を参考にして進めてきましたが、この2年間の増加数は冒頭の説明の通り、予想をはるかに越えています。

教育委員会は、平成３０年から分離分校のための、京大農場・城山台公園・城跡公園や民間の大規模な土地の所有者など可能性を探りましたが、令和3年度には教室数の不足が確実なことから間に合わないことは明確で、校庭内に分校という形式で建設することを決定した訳です。

保護者の方や就学前の親の方たちの中には、2年前の調査の不透明さなどに不安を抱き、今後も可能性がある限り別敷地での建設を求められています。

しかし、来年度に教室数が不足するため、すでに敷地内に建設工事を行うこと、2期工事や第２体育館の建設などで総額２０億円余りの費用を要すること、この工事は「城山台小学校過大規模校の解決策」として、文部科学省の許可された補助事業であることや、今の時期から別の用地を求めても、児童数のピーク時に間に合わないと推測し、現計画を推進すべきと考えます。

いずれにしても、継続しなければならない事は、すべての大人が協力して、子供たちの学習環境や通学時の安全などをより良いものにつくり上げることが必要であり、私も微力ながら力を注いでいきたいと思っています。

一般質問

東中央線の課題と目標達成に向けて

伊藤紀味枝（いとう きみえ）

Q　木津東バイパス、東中央線が開通し、接道も含め交通の流れは。渋滞等改善したか。

A　市街地の国道24号を通行していた車、特に三重県方面の往来車が新道に流れ、周辺の生活道路を利用していた車の流れも変化し、交通の分散化に。信号機の調整等継続する。

Q　国道24号の沿道の未整備箇所の整備計画は。また、道路灯の整備は。

A　国道24号の歩道整備は来年度も継続となる。井関川周辺の歩道整備は今年度完了予定である。道路灯は国と調整中。

Q　国道24号バイパスの木津奈良道交差点より南約80m（ファーストフード店向い）は歩道がなく危険である。整備計画は。

A　本年度に洗車場まで整備する。高低差のある部分は転落防止対策をする。

Q　奈良道から木津奈良道交差点は左折（北方向に）できない。このままか。

A　完了後も左折できない。

Q　城陽井手木津川バイパスの早期実現に向けての活動や国への働きかけは。

A　今年４月にプロジェクトチームを立ち上げた。新名神につながり南部には重要な道路であり、まちづくりにも寄与する。城陽市、井手町と一緒に要望活動する。

新型コロナの第2波感染拡大を防止

山本和延（やまもと かずのぶ）

５月25日に緊急事態宣言が解除されましたが、新型コロナウイルスは終息しておらず、「新しい生活様式」が求められています。

５月26日の臨時議会と６月５日から開催の６月定例会の議会運営について、会派代表幹事会や議会運営委員会で新型コロナウイルスの第２波感染拡大の防止策（咳エチケットや３密回避等）を協議しました。

○質疑応答は簡潔明瞭に時間短縮を行い、円滑な議会運営を図る。

○審議は議場や委員会室のドアーを常時開放し、適時休憩を取り、室内の換気を行う。

○入場入室はアルコール消毒を徹底し、議場や委員会室において全員にマスクの着用を義務づける。ただし、議長席や発言席、答弁席に透明のアクリル板を設置し、発言時のマスクの着用は任意にする。

○議員席は間隔をとり、一般質問は傍聴席の半分を議員席にする。一般質問の発言時間を15分に制限し、各質問後の10分間の休憩中に、発言席を消毒する。

○行政側の出席は所管の答弁者だけとする。

○本会議の傍聴は控えていただく。委員会の傍聴はお断りし、オンライン中継等を利用していただく。

これからも市民の安全安心のために、議会の機能や役割を踏まえ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら感染防止への議会対応を検討してまいります。

新型コロナウイルス禍が示唆すること

玉川実二（たまがわ じつじ）

最初に、この度の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。

また、罹患され闘病生活を送られている皆様の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

さて、困難とも言える今回の新型コロナウイルス禍では、日常生活における課題が浮き彫りになり、社会の在り方を変えることを示唆されているように感じております。

今議会の一般質問では、困難な状況に直面されている方々のための支援策や、休業を余儀なくされた児童や生徒の学習保障などについて問うとともに、提言をさせて頂きました。

困っている人に寄り添う共生社会に向けて

本市行政においては、ひとり親家庭への支援など本当にお困りの方々に対し支援策を講じています。また、スピードが問われる給付など、他の自治体に比して迅速かつ給付率も高く、行政の皆さんの頑張りが見て取れました。

私は、敢えて支援策の活用率トップ３とボトム５について質問をしました。分析は行われておらず明確な答弁はありませんでしたが、尋ねた主旨、それは要望されていない支援策は、直ちに廃止し本当に必要とされる支援を見極め迅速に対応してほしいという思いからであります。

困っている人に寄り添い共に生きる社会の実現を目指して市民の皆様とともに尽力していきたいと思います。

教育改革　～カイゼンは巧遅より拙速～

新型コロナウイルス禍で日本のＩＣＴ活用の遅れが露呈しました。（文科省調査オンライン使用5%、デジタル化29%）

叡知を集め、一歩踏み出す勇気こそ改革を推進するのに大切なことであります。改革の先には、子どもたちの未来を担う重要な役割があることを常に念頭において挑戦してほしいものです。

Think Children First and All for Children!

マイナポイント還元率25%を活用しよう

兎本尚之（うもと たかゆき）

消費税増税による景気の落ち込みを緩和する目的のキャッシュレス・消費者還元事業で最大５%還元が6月で終了しました。実質、増税前よりも対象のものは安く購入できていたため、７月より緩和がなくなることで第２波の景気悪化が予測されます。

前回、マイナンバーカードの作成をお勧めしましたが、次は消費の活性化や官民キャッシュレス決済基盤の構築などを目的にマイナポイント事業があります。

マイナンバーカードを使って事前に登録したキャッシュレス決済システムにチャージor買い物をすると政府からマイナポイントが上限５０００円分付与される仕組みです。

９月から来年３月末までの利用が対象で７月からキャッシュレス決済の登録はできますが、独自ポイントを１０%上乗せするなど、決済会社それぞれ独自サービスが出てくるかもしれないので急いで登録する必要はないと思われます。

独自サービスを見比べて、ご自身にあったキャッシュレス決済を選ぶ時間的に余裕があるので、マイナポイント事業を活用する準備をしてみてはいかがでしょうか。

木津川市議会
れいわの会だより
第６号
■発行日／令和２年１０月１８日　■編集／木津川市議会れいわの会

南山城村高山ダムにて

新型コロナ感染防止　追加対策の補正予算可決

新型コロナ新規感染者は減少傾向ですが、これから秋冬にかけて、新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念され、これからも新しい生活様式が求められます。

９月定例会は決算議会であります。

令和元年度一般会計決算は、歳入２８４億７千万円、歳出２７８億２千万円、歳入歳出差引額６億５千万円で、主な事業は新学校給食センター建設、城山台児童クラブ２号館建設、児童生徒にタブレット端末の段階的な整備、加茂人権センターと小谷児童館の複合改修工事、東中央線と木津東バイパスの整備、道路照明灯のＬＥＤ化等で、本市の安全安心なまちづくりや子どもたちの健やかな成長を推し進め、評価できるものであります。

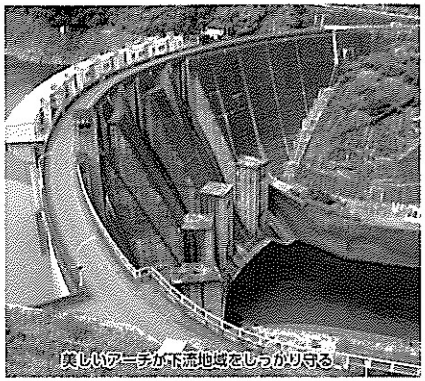
令和２年度一般会計補正予算は、１億21万円の追加で、コロナ感染防止の対策として、コミュニティバスの抗菌コーティングや生活困窮者への住居確保給付金等、新しい生活様式の対応として、庁内テレワークの構築や小中学校にタブレット端末の段階的な整備の前倒し等です。

新型コロナ感染拡大により社会が変容する中、「れいわの会」は、皆さまの意見をお聞きし、市民の生活や安全安心を守るために何が必要かを議論し、行政に提言してまいります。

れいわの会 視察報告

市民の生命・財産を守る高山ダムを視察

令和2年9月3日


美しいアーチが下流地域をしっかり守る

本市の最大の課題である洪水対策と、要でもある高山ダムの機能と最近の事前放流対応について現地視察を行った。

【高山ダムの概要】

ダム型式：アーチ重力式コンクリートダム
竣　　工：昭和４３年
管理開始：昭和４４年８月
流　　域：流域面積６１５㎢
所 在 地：南山城村田山字ツルギ４３

【ダムの役割】

１．ダムの機能

①洪水調節：大雨による洪水をダムで一時的貯留し、安全な流量に調整し放流
②流水の正常な機能の維持：ダム下流の既得用水の安定した取水及び河川環境の保全
③新規利水：上水道用水最大毎秒５．０㎥
④発電：関西電力で最大出力６０００kW

２．異常洪水時防災操作

計画を上回る異常な洪水時は、流入量と同程度をダムから放流。

３．事前放流について

計画規模を上回る洪水が想定された場合に、ダムの容量の一部を洪水の発生前に放流し、洪水調節容量を一時的に増やす操作。

※令和２年１０月８日、台風１４号接近に伴い、事前放流実施要領に基づき、初の事前放流を実施。

［事前放流の効果］

洪水調節容量を使い切ることを回避することや、異常洪水時防災操作の移行を遅らせることにより、ダム下流の浸水被害の軽減及び避難時間を確保。

４．ダム湖の水質改善の取り組み

平成１５年から曝気循環設備を稼働し、アオコや淡水赤潮の発生を抑えている。

５．フラッシュ放流

ダム下流の河川環境保全に配慮した放流。

【その他】

■ダムの寿命

２０年に１回大規模メンテナスを実施すれば、１００年以上は維持できると考える。

■緊急放流時の連絡体制

ダムからゲート放流の開始時：３０分前、音声放送とサイレン３回鳴らす

異常な大雨による緊急時：３時間前、１時間前、音声放送とサイレン６回鳴らす

【まとめ】

平成30年7月豪雨において、国土交通省所管ダム（２１３ダム）で洪水調整を実施し、ダム下流河川の水位低減により、被害の軽減・防止効果を発揮した。近畿地方でも３ダムで異常洪水時防災操作を実施。

今後は、令和４年度完成予定の川上ダムも含めた木津川流域のダムの機能と洪水に対する効果を注視していく。

皆さんのご意見をお聞かせください　E-mail reiwa.kizugawa@gmail.com

倉　克伊　TEL 86-2835　FAX 86-4235
森本　隆　TEL 73-5314　morimoto077473@clock.ocn.ne.jp
伊藤紀味枝　TEL 72-1102　kimie.ito2@gmail.com
山本　和延　TEL 72-1894　FAX 72-1894
高岡　伸行　TEL 86-2437　nobu05071965@yahoo.co.jp
谷口　雄一　TEL 26-4804　ksp_yuichi@yahoo.co.jp
兎本　尚之　TEL 76-7580　tatugami@hotmail.com
玉川　実二　TEL 51-5883　jitsutama@yahoo.co.jp

「ウイズコロナ」の新しい生活を支援

山本和延

新型コロナウイルスの解明が進んでいるが、感染の収束は難しいと予想されている。

ワクチンや治療薬・治療法の開発により、感染症対策は進んでいくが、これまでの様々なウイルスのように、天然痘ウイルスを除き根絶できないと推測されている。

このような中、新型コロナウイルスとの共存である「ウイズコロナ」の新しい生活を生み出さなければならない。

今年度一般会計予算は総額２８２億９３００万円で、歳入のうち市民税４６億０９６２万円、財政調整基金の繰入金９億２４２０万円である。

市の財政は、新型コロナウイルスの影響による急激な景気悪化にともない税収が減少し、大変厳しくなると思われるが、コロナ対策に財政需要が増え、補正予算が必要となる。

行政に健全な財政運営が求められる中、適切かつ充分な額の財政調整基金を一般会計に繰入れ、効果的にコロナ対策事業を推し進めなければならないと考える。

新型コロナウイルス感染から市民の健康や生活を守るために、財政調整基金を一般会計に繰入れが必要である。

一般質問

市政のデジタル・トランスフォーメーションを加速せよ

森本　隆

Q　国の新型コロナ感染症対策、地方創生臨時交付金3兆円の市の取り組み、特にデジタル・トランスフォーメーション(DX)は。①市への交付額は。②具体的な政策は。特に、職員のキャッシュレス化と庁内ペーパーレス化を進めるべき。③全庁的なデジタル化推進の仕組みを作るべき。

A　①交付限度額９億５１５万円。②グーグルとの提携を活かしてデジタルマーケティングを進める。キャッシュレス化は端末を設置予定。ペーパーレス化は総合窓口設置の中で電子申請等も含めて検討する。また、デジタル図書館も研究する。③学研企画課を中心に全庁的なスマート化を進める。

新型コロナ感染症対策の市の取り組みは。

Q　①医療体制の強化計画は。②ＰＣＲ自動検査機を購入し発熱外来の強化が必要では。③介護施設等にリモート面会を導入する予定は。

A　①新たな宿泊療養施設確保、病床数増床を調整中。②山城総合医療センターで購入を検討中。③補助金を活用し導入を支援する。

市内応援キャンペーン

高岡伸行

４月１６日全国に緊急事態宣言が発令され、外出自粛等により地域経済活動が停滞しました。それまでの木津川市を取り戻すきっかけになる事を願い（きづがわエール商品券）が配布されました。ＧｏＴｏキャンペーン事業と併せてご利用できます。

秋から冬にかけて、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。手洗い、マスクの着用、そして社会的距離等を取り感染症が収束する事を願います。

東京2020聖火リレー

コロナ禍の影響で延期されていました聖火リレーが組織大会委員会からルートの発表があり、令和３年５月２６日（水曜日）に木津川台にて開催される予定です。盛り上がる事を期待します。

一般質問

コロナ禍による教育現場の影響は

伊藤紀味枝

Q　教育機関の対策は。①学校の授業が遅れているが、取り戻せるのか。②オンライン授業の今後の取り組みは。③メリットとデメリットは。④新入生の不安感の払拭は。⑤不登校の状況は。⑥世間ではＤＶ（家庭内暴力）が増えているが、市の状況は。⑦教員業務は多忙になり、危機的状況にあるが、対応は。

A　①小学校では、授業時数の回復措置を計画し、時数確保と、学習の質の向上等、つけたい力の育成に努める。②小６・中３生を優先し、タブレットとルーターを貸出し、安全なオンライン授業を計画。③学習機会を保障し、学校に来られない子どもへの学習支援ができる。対面に比べ一人一人のきめ細かな支援等が難しい。④学校に行き渋る低学年児童が例年より多い、家庭と連携し支援する。⑤小学１・２年生で見られ、丁寧な見守りが必要。他は減少。⑥増加傾向はない。⑦全小中学校にスクールサポーターや心の居場所サポーターの配置を進めている。

木津駅東のまちづくりは

Q　木津駅東地区の将来を見据えた考え方は。

A　排水処理も含め、計画的な市街地形成に向けた検討を進める。木津駅東地区は、総合計画では「市街地整備ゾーン」であるが、現状が農振農用地であるため、すぐには進められない。事業が動き始める前には、地権者の意向を酌み取るように努める。

★「きづがわエール商品券」のご利用お忘れなく

兎本尚之

皆さんのお手元にも「きづがわエール商品券」は届きましたでしょうか。

１０月より利用できますのでもうすでに使用された方もいらっしゃるかとは思います。市内での消費喚起と地域経済の活性化に向け、対象の市内店舗で利用可能な商品券を８月１日時点での全市民に配布されています。

この商品券の使用期限は年内ですのでお忘れなくご利用ください。

★ロタウイルスワクチンが10月から無料に

生後６カ月から２歳をピークとして５歳までにほぼすべての乳幼児が感染する感染力の高いウイルスです。このワクチンは任意接種で長年にわたり定期接種化が求められてきたもので、私も任意接種であるならばせめて半額の補助をと提案してきました。

今回の定期接種化でこれまで有料だったワクチンが無料となるため、さらに多くの赤ちゃんが守られることになると思われます。

一般質問

人と動物の共生する社会づくりの推進を

谷口雄一

本年６月に改正動物愛護法が施行され、動物への虐待や遺棄についての厳罰化、動物の適正飼養のための規制強化などが図られた。

Q　災害発生時におけるペットの同行避難について、具体的で分かり易い周知が必要では。

A　放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点から、避難所へのペットの同行避難を推奨している。市ホームページの内容を見直し、充実していく。

Q　地域猫に関する対応として、トラブルを未然に防ぐためのガイドラインを整備すべきでは。

A　地域では、猫が居つくことに懸念を示される方がおられる一方で、いわゆる地域猫活動を求める方もおられる。環境省から、住宅密集地における適正飼養ガイドラインや、所有者の判明しない犬猫の引取りの取扱いについての通知等が示されており、参考にしながら対応していく。

Q　犬猫の殺処分数の推移と、減少・ゼロを目指すために、猫繁殖制限手術費用に対する補助金制度は効果的であり、創設の考えは。

A　京都市を除く府内全体で、平成２９年度は１８７頭、平成３０年度は８３頭と減少傾向であり、その大半は猫の幼齢個体である。府内における補助金制度は、京都市、八幡市、城陽市で実施されているが本市において、現時点で創設する予定はない。

地域の安全を守るために

倉　克伊

７月１５日、臨時議会で「太陽光発電設備に関する条例」が上程され全員賛成で可決しました。

この内容は１年前に上程された条例案から、市民のパブリックコメントや議会の意見を参考に大きく見直され、山城町東部から加茂町みかの原地域の山間部を設置抑制地域に指定し、しかも地元説明を経て市長の同意を求める書類の提出を規定するもので、事実上禁止に近い地域を設定したことです。

そもそも国・府は再生可能エネルギーを推進することで脱炭素社会、クリーンなエコ社会の実現を目指しています。もちろん市もそのことを推奨し私もそれを支持しています。

今、地球上ではオゾン層の破壊や大気汚染の一因となっているフロンガスやCO_2などを人間社会が自然界に放出し続けてきました。太陽光発電は、再生可能エネルギーの中でもクリーンエネルギーの最たる物であることは言うまでもなく、社会の一員としてこれらを推奨していくことは大変重要であります。

しかし、先に述べた地域は過去に幾度となく災害に見舞われた地域であり、特に昭和２８年の南山城大水害で大きく被災した要因となった箇所でもあります。近年、地球温暖化により増大する災害を考えますと、最も大切な人々の生命・財産を守ってこそ、進める価値があります。

これらの両立は全国的な課題でありますが、私は、地域の環境を保持しながら、安心・安全な形で住みやすい人々の生活を守ってこそ再生エネルギー施策が認められ、社会と共存していくことができると強く考えます。

新政権に思いを寄せて

玉川実二

改革、改革、そして改革

９月１６日、新しい内閣が発足しました。菅首相のお話の中で最も耳に残るのが「改革」の２文字であります。

働き方・教育・規制改革など、改革すべき事案は沢山あり、それらの改革を通じて日本を変えていく必要があります。

現下のコロナ禍において、社会が大きく変容し「新しい日常」が出現する中、生き方そのものの改革を推し進める必要に迫られているように思います。市政においても積極的に改革が推進できるよう尽力していく所存であります。

悪しき前例主義をぶっ潰す

「前例がないからできません」、「ルールだからやれません」仕事の上で、時折、耳にする言葉で、私が最も嫌うものです。

前例がなければ作ればいい。ルールが現状にそぐわないのであれば改定すればよい。みんな人が作ったもの。であるならば人が変えればいい。失敗を恐れずに、「とにかく、考えてみることである。工夫してみることである。そして、やってみることである。失敗すればやり直せばいい。」経営の神様、松下幸之助さんもこのようにおっしゃっています。悪しき前例主義をぶっ潰し、積極的に改革を推進していきたいものです。

市民のために働く議会

叩き上げの苦労人というのは、どこか心に響くものです。地縁血縁ゼロから登りつめた実力もさることながら、現場に耳を傾け、国民目線で仕事をされる姿勢に共感します。

市議会も古き地縁血縁などの慣習に頼る自治ではなく、創造的な視点で市全体を俯瞰し、真に「市民のために働く議会」でありたいものです。それには、議会の新陳代謝を図り、改革意欲のある多様な人材が議会に参画することが重要と考えます。

木津川市議会

れいわの会だより

第７号

■発行日／令和３年１月１０日　■編集／木津川市議会れいわの会

コロナ追加支援の補正予算可決

令和３年の輝かしい新春を迎え、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年は延期されていた、東京２０２０オリンピック・パラリンピック開催へ向けて、５月26日に聖火リレーが木津川台で実施される予定です。

12月議会では、ひとり親・準要保護世帯に対する給付金を昨年末に支給することや、コロナ融資対象事業者に対する支援金を今年度中に支給する追加支援を決定しました。また、次年度以降の事業展開として、窓口機能強化と市民サービス向上を図るため、書かない窓口支援システムの導入を決定しました。

次に、学校の臨時休校等の緊急時に学習保障対策として、小学校・中学校へのオンライン学習用カメラヘッドセットが一学級一セットになるように追加整備を決定しました。

今後も引き続き、私たち『れいわの会』は「何が必要で、何が無駄か」を議論し提言をして参ります。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めない中、感染予防をお願いします。

消防本部議会報告

木津川市、笠置町、和束町、南山城村の１市２町１村で構成されている相楽中部消防組合の各施設は老朽化が進んでいる。特に、消防本部庁舎は老朽化や耐震性能の不足、浸水の懸念があり、早期整備が望まれている。新庁舎基本構想について報告する。

<現状の課題>

①現在の本部庁舎が浸水想定地域（3m以上）に立地。建築後４６年以上経過して、建物が老朽化し、災害危険性が高い。

②現本部庁舎には、訓練施設、女性用設備等がなく、新庁舎の優先整備が必要。

③現在の木津西出張所、山城出張所の人員体制では、同時出動（救急車＋消防車、２台の救急車等）に対応できない。

<基本構想案>

①新庁舎を城山台に建設し、本部を災害リスクが少ない高台に移転する。

②新庁舎を延床面積 4500 ㎡で整備し、住民の安心・安全を守る役割を果たせる庁舎にする。

③木津西、山城両出張所を新庁舎に統合し、職員車両等を集約配置して総合力が発揮できるようにする。

<事業総額>　約３２．３億円

<スケジュール>

令和３年度	基本設計、事前協議等
令和４年～６年度	造成工事、建築工事
令和６年度末	新庁舎完成を目指す

現在の消防本部

国への要望活動報告

11月16日17日、会派として、万全のコロナ対策を行なって、国への要望活動を実施した。地元の国会議員や国への要望活動を行い、本市の諸課題について地元の想いを伝えることができた。

○国への要望内容

①相楽中部消防本部の移転新設に関して、河川の浸水想定区域の消防本部に対して、令和３年度以降も、財政支援が受けられるよう要望する。

⇒（総務省）11/10 に武田総務大臣が延長検討を表明、年度末に正式な延長ができるように取り組む。令和２年度に、河川の浸水想定地域の消防署は事業債の対象となっている。

②国道 24 号バイパス（城陽井手木津川線）の早期完成に向けて、加速した取り組みを要望する。

⇒（国交省）今年度中に城陽市と井手町の用地買収は進める。京都府土地開発公社の活用も考える。

③国道 163 号の土砂崩れ対策の抜本的な対策（トンネル新設等）を要望する。

⇒（国交省）国道 163 号は京都府の管轄であるが、国からの財政的な支援を検討する。

※同内容を京都府選出の安藤裕衆議院議員、西田昌司参議院議員、二之湯智参議院議員に要望した。

衆議院議員会館にて

【まとめ】

省庁担当者より前向きな回答を得ることができ、市の課題解決に向けて大変有意義な活動となり、今後も続けていきたい。要望活動の結果、消防本部の移転新設に関して、昨年末に令和３年度以降も財政支援が受けられることが決定した。

皆さんのご意見をお聞かせください　E-mail reiwa.kizugawa@gmail.com

倉　克伊	TEL 86-2835	FAX 86-4235	高岡　伸行	TEL 86-2437	nobu05071965@yahoo.co.jp
森本　隆	TEL 73-5314	morimoto077473@clock.ocn.ne.jp	谷口　雄一	TEL 26-4804	ksp_yuichi@yahoo.co.jp
伊藤紀味枝	TEL 72-1102	kimie.ito2@gmail.com	兎本　尚之	TEL 76-7580	tatugami@hotmail.com
山本　和延	TEL 72-1894	FAX 72-1894	玉川　実二	TEL 51-5883	jitsutama@yahoo.co.jp

一般質問

今こそ災害に強いまちづくりを

Q　近年、自然災害が頻発しており、災害対策の強化が必要である。
　３月議会で、木津合同樋門の排水能力の強化として、毎分400㌧に増強するため、排水ポンプの設置を検討しているとの答弁であった。進捗状況は。

A　関係機関協議ならびに測量・設計を進めている。12月に詳細設計を発注した。施設配置等を決定し来年度に必要な用地確保を行い、事業の早期完成を目指す。用地確保には相手があり、誠心誠意努める。

伊藤紀味枝（いとう きみえ）

Q　木津駅東の排水課題はそのままである。今後の考えは。

A　排水処理も含めて、計画的な市街地形成に向けた、検討を進めたい。

Q　各地域のタイムラインの取り組みの進捗状況は。

A　元年度は南平尾区、本年度は本町東地区で作成を進めている。自然災害による逃げ遅れをなくすため、５年度まで、水害等避難行動タイムラインの作成に取り組む。

虐待を許さない社会を

Q　児童虐待の実態は。

A　元年度は202件、継続通告件数は348件。新規通告件数で虐待種別では身体的虐待が38件、心理的虐待151件、ネグレクト13件です。

Q　子育て家庭の孤立化を防ぐには。

A　子育て世代包括支援センター（宝箱）等の設置、相談できる体制づくりや地域での見守りが防止に繋がる。

コロナ禍での議会の感染対策

山本和延（やまもと かずのぶ）

昨年、国内の新型コロナウィルス感染者が１月１６日に初めて公表され、累計の感染者数が２０万人を超えました。

このような中、市民の皆様はウィルス感染防止のため、三密を避ける、不要不急の外出を避けるなど、厳しい日常生活となりました。

令和２年１２月定例会において、コロナ対策により影響を受けた市民や事業者の年末年始の追加支援として、１億９１４３万円の補正予算第９号を可決しました。事業者、ひとり親世帯・準要保護世帯等への追加支援と、感染拡大防止のための追加支援等です。

１２月定例会の感染対策は、これまでの対策を継続する中、一般質問の発言時間の制限を緩和し、２５分としました。これからもウィルス感染状況を注視し、感染対策に取り組んでまいります。

１２月２２日、木津川市議会議長に対する問責決議案の可決に対して、議長として真摯に受けとめ、議会運営に混乱を招いたことをお詫びいたします。これからも、公平公正で円滑な議会運営のもと「議会の見える化」を推進していきます。

一般質問

平時から事前防災の備えを

谷口雄一（たにぐち ゆういち）

いかなる災害に対してもゼロリスクを想定することは不可能であり、事前防災、早期復旧に資する具体的な対策が重要です。地域の災害対応力の向上は、民間投資の呼び込みに寄与し、結果、地域の継続的な成長につながるものと考えます。

Q　特に震災に関する被災状況の想定と対応は。

A　本市に最も被害が大きいとされる奈良盆地東縁断層帯を震源とする直下型地震は、最大予測震度７。人的被害は死者数が約470人、建物被害は約23000棟の想定。南海トラフ地震は、最大予測震度６強。人的被害は死者数が約30人、建物被害は約740棟の想定。令和２年３月策定の市国土強靭化地域計画において、地域防災計画の具体化を図っていく。

コロナ禍での学習の遅れを挽回し、高校受験に向けて万全な対応を

Q　学習の遅れへの具体的な対応は。
**　高校受験を控え、他自治体との相対的な比較は。**

A　夏休みの短縮、体育大会・合唱コンクール等の行事の精選、７校時目授業の設定、モジュール学習等を活用し、可能な限り授業時数の回復に努め、２学期を終える時点で、履修すべき学習内容をほぼ回復する。高校受験では、公立私立共に試験範囲の調整が行われており、例年に比べて特に受験生が不利になることはないと考えている。履修状況の到達度について、現時点で他市町との客観的な比較は困難だが、引き続き学ぶ意欲を取り戻すことを目標に取り組んでいく。

一般質問

空き家条例の制定へ向け パートⅢ

高岡伸行（たかおか のぶゆき）

昨年より、今後は木津川市に於いても「空き家条例」が必要になってくるとの思いから必要性を提言して来ました。今年の３月議会に上程される見込みであり、今後も注視して参ります。

平和の尊さを継承する大切さ

昨年秋に行われた各小学校の修学旅行は、コロナ禍の影響で日帰りになり、学習先が各小学校それぞれ変わりました。このことを受け、社会が変わろうとしている今、1908（明治41）年から行われている伊勢への修学旅行を見直すきっかけになればと考えます。これから生まれて来る子ども達や、小学生になる子ども達のことを考えると、修学旅行は平和学習に広島の現地に行き、平和について（戦争はダメなんだよ）学習することが大切になるとの思いから質問しました。

Q　まずは、校長会で修学旅行・平和学習の意見交換をすべきでは。

A教育長　平和の尊さを子供たちに継承することは教育の基本。広島の平和記念公園で戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶことは非常に有効。各、学校としても重く受け止めている。新しい学習先を選考する学校があり、校長間でその様な話し合いはある。

“私の想い”

教育長とはこれまで幾度となくこの事は意見交換を重ねて来ましたが、今後も提言して参ります。

更なる健全な自治体経営のために

玉川実二（たまがわ じつじ）

先の12月定例会において、本市の自治体経営について質問並びに提言を致しました。

今回取り上げたテーマの根底にあるのは現在を生きる人々の「幸せ＝Well-being」そして、次代を担う子や孫に対し意義ある政策を問うものであり、行政運営に資するものとなるよう民間感覚をまじえた提言をさせて頂きました。（議会だより参照）

歳出の削減と稼ぐ自治体

民間で言う「コスト削減と売上増」であります。

本市行政においては、112項目もの行財政改革行動計画があり、各項目における事業が推進されております。

しかしながら、その内容と実績評価、数値目標の根拠などが曖昧であり、民間企業などに学び、自治体経営の在り方を見直し、改革していく必要があると考えます。

また、市長Top5プロジェクト、部長Top10プロジェクトなどプライオリティーを付け推進するなど、見える化と説明責任を果たすことが必要であります。

地方創生は、今後更にその重要性を増し、本市自らが「生産性の高い自治体」、「稼ぐ自治体」、「自立した自治体」に生まれ変わる必要があると考えます。

自治体経営の指標

自治体運営を行う上においては、数値化した目標を示す必要がありますが、行政ではなかなかこの数値化ということが不得手であるように思えます。

財政指標を設け、予実管理をしっかりと行うこと、中期計画を作成し、少なくとも半期決算でプロジェクトのレビューを行うこと、そして大変重要である市民満足度指標を設け、自治体経営を推進していくことなどを提言させて頂きました。

今後も多様な経験を活かし、政策提言など行ってまいります。

エッセンシャルワーカーの方々に感謝と支援を

兎本尚之（うもと たかゆき）

医療関係者の皆さま、福祉関係者の皆さま、公共交通機関の職員の皆さま、スーパーやコンビニなどの店員の皆さま、配達員の皆さま、ゴミ収集業者の皆さまなど、感染症への危険性があるなか、生活を営む上で欠かせないライフラインを維持する仕事に従事し、私たちの生活を支えてくださっているエッセンシャルワーカーの皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

「ありがとうございます」

一方で、医療従事者に対する差別的な言動やコンビニなどの店員に対する誹謗中傷など、エッセンシャルワーカーが苦しめられている現状があるのも事実です。また、感染症対策をしていたとしても不安などからくる差別的な考えが正当化されている現状に胸を痛めています。

エッセンシャルワーカーの皆さまには感謝するだけでなく、その処遇を改善する必要があると考えており、そのための支援を考えていきたいと思います。

一般質問

デジタル・トランスフォーメーション（DX）の進捗は

森本　隆（もりもと たかし）

地方創生臨時交付金の市のデジタル事業の進捗と、市のデジタル推進体制について。

Q　①オンライン授業の準備は万全か。②電子図書館の進捗は。③CIO（最高情報責任者）補佐官採用の目的は。

A　①2021年２月末までに１人１台タブレットが配備される。技術サポートは、専用ヘルプデスクを設置する。②奈良市と共同で、電子図書館開設の準備をしている。③市のスマート化実現のためにICTの高いスキルを持った専門人材を雇用する。

学校施設の個別施設計画の課題は

令和２年５月に作成された「学校施設等長寿命化計画」等の課題について。

Q　①児童生徒が減少する学校施設は統廃合の検討が必要では。②幼児教育無償化による公立幼稚園の変化は。③旧木津学校給食センター跡地には地元が望む施設を誘致すべきと考えるが。

A　①現時点で将来８校の小中学校が統廃合の検討が必要。地域代表、保護者、学識経験者等で検討することを考えている。②高の原幼稚園は募集に対して22％と応募者が大幅に減った。公立幼稚園のこども園化等を考えていく。③現状は企業誘致を考えている。

一般質問

市のまちづくりの南北軸となる城陽井手木津川線

倉　克伊（くら かつよし）

今回の一般質問で、市の基幹道路となる国道24号城陽井手木津川バイパス（延長11.2㎞）の早期着手と早期完成、府道枚方山城線をこのバイパスまで延伸するための事業化に向けた強い思いを要望し、また、椿井・上狛東部周辺のため池や水路の整備について質問をしました。

城陽井手木津川線は、現在、城陽市・井手町については測量が終わり、出来るところから着手されていますが、木津川市域は未着手で日程すら決まっていません。本来、同時着手を要望していたにも関わらず、北からの着手となったのは非常に残念ですが、今後、一日も早い着手と早期完成を願うものです。

府道枚方山城線の延伸は、棚倉駅周辺及び東側の今後のまちづくりと地域の発展に必要不可欠であり、災害時の基幹道路としても重要であります。一刻も早い事業化を強く要望しました。

次に、椿井地区の田護池は、市内でも大きいため池でありますが、老朽化や管理する営農者の高齢化が進み、これらの状況から管理団体と話し合い、埋め立てなどを含め管理状況を改善するよう提言しました。また、椿井水利組合や上狛高麗水利組合が管理する水路についてもバイパスの着工と合わせて整備し、改善をするよう提言しました。

別紙12（項目別集計表）　　〔会　派　用〕

項　目　別　集　計　表

科目番号	科　目　名
5	要請・陳情活動費

年月日	内　　容	支払額（充当額）	備　考	整理番号
R2.11.16	交通費（JR木津　⇔　東京）	203,280円		5－1
R2.11.16	交通費（タクシー）ホテル⇒参議院会館	2,420円		5－2
R2.11.16	交通費（タクシー）ホテル⇒参議院会館	2,340円		5－3
R2.11.16	交通費（タクシー）憲政記念館⇒ホテル	1,220円		5－4
R2.11.16	交通費（タクシー）憲政記念館⇒ホテル	1,060円		5－5
R2.11.16	宿泊代　三井ガーデンホテル銀座五丁目	74,200円		5－6
R2.11.17	交通費（タクシー）ホテル⇒衆議院会館	1,460円		5－7
R2.11.17	交通費（タクシー）ホテル⇒衆議院会館	1,460円		5－8
R2.11.17	交通費（タクシー）衆議院会館⇒東京駅	1,220円		5－9
R2.11.17	交通費（タクシー）衆議院会館⇒東京駅	1,220円		5－10
合　計		289,880円		

科目番号　1：調査研究費　2：研修・会議費　3：広報費　4：広聴費　5：要請・陳情活動費
6：資料作成費　7：資料購入費　8：事務費

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	5 － 1		
支出年度	令和２年度	支出年月日	令和２年　11月　２日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□１：調査研究費　□２：研修・会議費　□３：広報費　□４：広聴費 ☑５：要請・陳情活動費　□６：資料作成費　□７：資料購入費　□８：事務費		
政務活動費金額		203,280 円	

【領収書等証拠書類貼付】　交通費（JR木津駅　⇔　東京駅）

領収書
Receipt　　いいわの会　様
領収年月日　2020.11.-2
金　額　¥203,280（消費税等込み）
上記金額確かに領収いたしました
購入商品　ＪＲ乗車券類　ＪＲ tickets
（10099　28枚）
西日本旅客鉄道株式会社
木津駅
木津駅Ｆ１発行　20100-01

印紙税申告納付につき大淀税務署承認済

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

別紙３（旅費明細書）　　〔会　派　用〕

旅　費　明　細　書

会　派　名	れいわの会	整理番号	５ － １～５
参加者氏名	倉克伊、森本隆、山本和延、谷口雄一、伊藤紀味枝、高岡伸行、兎本尚之		
要 務 先	11 月 16 日（月）　参議院会館、憲政記念館 11 月 17 日（火）　衆議院会館		
実 施 日	令和２年　11 月 16 日　～　11 月 17 日		
目　的 （研修内容）	国への要請活動、国会見学		

月　日	発　着	路　程	運　賃	特別料金	領収書番号（無い場合は理由）
11/16	JR 木津　⇔　東京（往復）	km	203,280 円 (29,040 円)	円 (　　円)	木津駅 F1 発行 20100-01
11/16	ホテル　⇒　参議院会館	km	2,420 円 (　　円)	円 (　　円)	タクシー 領収書添付
11/16	ホテル　⇒　参議院会館	km	2,340 円 (　　円)	円 (　　円)	タクシー 領収書添付
11/16	憲政記念館　⇒　ホテル	km	1,220 円 (　　円)	円 (　　円)	タクシー 領収書添付
11/16	憲政記念館　⇒　ホテル	km	1,060 円 (　　円)	円 (　　円)	タクシー 領収書添付
	小　計		210,320 円 (　　円)	円 (　　円)	
備　考					

※（　　）は１人当たりの料金

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	5 － 2～5		
支出年度	令和2年度	支出年月日	令和2年　11月　16日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□1：調査研究費　□2：研修・会議費　□3：広報費　□4：広聴費 ☑5：要請・陳情活動費　□6：資料作成費　□7：資料購入費　□8：事務費		
政務活動費金額		7,040円	

【領収書等証拠書類貼付】　交通費（ホテル　⇒　参議院会館、憲政記念館　⇒　ホテル）　タクシー

No.6788
交通系ICカード売上票
お客様控え
2020年11月16日　11:33
車番123320
メーター　2420円

運賃合計　2420円

Card Purchase
交通系支払
2420円
交通系残高　3040円
伝票番号 80064
カード番号
JEXXXXXXXXXXX2178
加盟店名
オオトリジドウシヤ(カ
電話番号
03-3607-2146
店舗端末 102000002324580

No.6788
領収書
2020年11月16日
車番123320　000
メーター　2420円

運賃合計　2420円

合計　2420円
交通系IC支払
鳳自動車株式会社
東京都葛飾区西水元5－13－14
お忘れ物、お気付の点は、
TEL　03－3607－2146

無線タクシーのご用命は
東京無線タクシー配車センター
TEL　03－3361－2111

領収書
No.3315
日付　2020年11月16日
車番　0441
運賃　¥2340円
合計　¥2340円
上記の通り領収致しました

大和自動車交通江東㈱
☎ 3633-6612
無線配車センター ☎ 3563-5151

No028
領収書
2020年11月16日
車番　5218
運賃　1220円

運賃料金計　1220円

計　1220円

DAIWA TAXI GROUP
東都交通株式会社
☎ 03－3919－5116
タクシーの御用命は無線配車センターへ
☎ 03－3563－5151

領収書
現金・チケット・クーポン・割引 No.3866
日付　2020年11月16日
車番　000375　0000
運賃　¥1,060円

運賃料金計　¥1,060円
合計　¥1,060円
上記の様に領収致しました
通行料・その他　円
上記金額正に領収致しました。

高橋タクシー
ドア番号：718
お忘れ物は下記所属団体へ
都営協 城東支部
平日9時から17時　03-5875-2940
時間外は日個連東京都営業協同組合
03-5976-9166
お問い合わせは
(一社)東京都個人タクシー協会　℡ 3947-1461
ご要望は
(公財)東京タクシーセンター　℡ 3648-0300

こください。

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	5 － 6		
支出年度	令和２年度	支出年月日	令和２年　11月　16日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□１：調査研究費　□２：研修・会議費　□３：広報費　□４：広聴費 ☑５：要請・陳情活動費　□６：資料作成費　□７：資料購入費　□８：事務費		
政務活動費金額		74,200円	
【領収書等証拠書類貼付】　宿泊代（朝食なし）　三井ガーデンホテル銀座五丁目			

111606201514

領　収　書

日付　2020/11/16

お名前　木津川市議会 れいわの会　様

金額　¥74,200-

上記金額確かに領収いたしました。
表示金額は消費税等を含んでおります。

mitsui garden hotels
PAID
領収済

印紙税申告納税　株式会社三井不動産ホテルマネジメント
付につき日本橋　作成地住所
税務署承認済　東京都中央区日本橋本町２丁目２番５号

三井ガーデンホテル銀座五丁目
MITSUI GARDEN HOTELS
〒104-0061
東京都中央区銀座5-13-15
TEL. 03-6226-5131　FAX. 03-6226-7031
URL. https://www.gardenhotels.co.jp

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

別紙３（旅費明細書）　　〔会　派　用〕

旅　費　明　細　書

会　派　名	れいわの会	整理番号	5 － 7～10
参加者氏名	倉克伊、森本隆、山本和延、谷口雄一、伊藤紀味枝、高岡伸行、兎本尚之		
要務先	11月16日（月）　参議院会館、憲政記念館 11月17日（火）　衆議院会館		
実施日	令和２年　11月16日　～　11月17日		
目　的 （研修内容）	国への要望活動、国会見学		

月　日	発　着	路　程	運　賃	特別料金	領収書番号（無い場合は理由）
11/17	ホテル　⇒　衆議院会館	km	1,460円 （　円）	円 （　円）	タクシー 領収書添付
11/17	ホテル　⇒　衆議院会館	km	1,460円 （　円）	円 （　円）	タクシー 領収書添付
11/17	衆議院会館　⇒　東京駅	km	1,220円 （　円）	円 （　円）	タクシー 領収書添付
11/17	衆議院会館　⇒　東京駅	km	1,220円 （　円）	円 （　円）	タクシー 領収書添付
	小　計		5,360円 （　円）	円 （　円）	
	合　計		215,680円 （　円）		
備　考					

※（　　）は１人当たりの料金

別紙14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	5 － 7～10		
支出年度	令和2年度	支出年月日	令和2年　11月　17日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□1：調査研究費　□2：研修・会議費　□3：広報費　□4：広聴費 ☑5：要請・陳情活動費　□6：資料作成費　□7：資料購入費　□8：事務費		
政務活動費金額		5,360円	

【領収書等証拠書類貼付】　交通費（ホテル　⇒　衆議院会館　⇒　東京駅）　タクシー

領　収　書
（交通系ICｶｰﾄﾞ支払）
No.1815
日付 '20年11月17日
車番　10154　000
基本運賃　¥1460円
運賃料金計　¥1460円
合計金額　¥1460円
毎度ご乗車ありがとうございます
品川交通株式会社
東京都品川区北品川2-34-3
03(3471)4428

領　収　書
現・チ・ク・割引 No.5040
日付 '20年11月17日
車番　100221　000
基本運賃　¥1460円
運賃料金計　¥1460円
合計　¥1460円
上記の通り領収致しました
毎度御乗車ありがとうございます。
株式会社　アシスト
西新井営業所
東京都足立区西新井7－15－2
お忘れ物、お問い合わせは当社へ
TEL03-3856-1102

No014
領収書
2020年11月17日
車番　699
運賃　1220円
運賃料金計　1220円
計　1220円
大陸交通株式会社
お忘れ物、お気づきの点は
TEL 03-3313-0373
無線タクシーのご用命は
東京無線タクシー配車センター
TEL 03-3361-2111

領　収　書
No.0095
日付 '20年11月17日
車番　000024　000
メータ運賃　¥1,220円
合計金額　¥1,220円
上記の通り領収致しました
毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物、お気づきの点は、
アサヒ交通株式会社
TEL 03-3652-8777

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

別紙 12（項目別集計表）　　〔会　派　用〕

項目別集計表

科目番号	科　目　名
6	資料作成費（印刷製本費）

年月日	内　　容	支払額（充当額）	備　考	整理番号
R3.4.5	令和２年度分　事務局コピー代	7,490 円		6－1
合　計		7,490 円		

科目番号　1：調査研究費　2：研修・会議費　3：広報費　4：広聴費　5：要請・陳情活動費
6：資料作成費　7：資料購入費　8：事務費

別紙 14（領収書添付用紙）　　〔会　派　用〕

領収書等貼付用紙

整理番号	6 － 1		
支出年度	令和２年度	支出年月日	令和３年　4月　5日
科　目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	□1：調査研究費　□2：研修・会議費　□3：広報費　□4：広聴費 □5：要請・陳情活動費　☑6：資料作成費　□7：資料購入費　□8：事務費		
政務活動費金額		7,490 円	

【領収書等証拠書類貼付】　令和２年度分　事務局コピー代

No.＿＿＿＿ 納入通知書兼領収証書

納入者	れいわの会 様		
令和 2 年度		会計	
科目 款	諸収入 ( )	項	雑入 ( )
科目 目	雑入 ( )	節	雑入 ( )
科目 細節	雑入 ( )		
金額	¥7490		
納入の内容	コピー代		
納入期限			

本市収納金融機関へ納入してください。

令和　　年　　月　　日

木津川市長
河井規子

領収日付印

上記のとおり領収しました。

【納入者保管】

※重ねないで裏面をのり付けしてください。